

平成25年度第2四半期「景気動向調査」結果報告

製造業では持ち直しの動きが見られるも、非製造業では回復の兆しが薄まる

コメント：【製造業】

売上(出荷)額において、DI値が三カ月前比では▲5.9から17.7回復し11.8と大きくプラスの値に転じており、売上増を感じている事業所が目立った。対前年比では▲47.1から38.3回復し▲8.8と大幅な改善が見られた。4期連続して悪化傾向が続いていたが、昨年と比較しても今期調査では売上の増加、経営状態の改善を感じている事業所が多かった。三カ月後予測では14.7から17.6悪化し▲2.9となっており前期調査から一転し今後は厳しい見通し。

景況感において、三カ月前比では▲14.7から26.5回復し11.8と大幅な改善。2期連続して回復傾向が続き今後の調査が期待される。対前年比では▲38.2から26.4回復し▲11.8と景況感においても昨年との比較で直近三カ月間の改善を感じている。三カ月後予測では5.9から2.9回復し8.8と2期連続してプラスの値を維持しており、景況感では今後も改善を期待している。

円安による影響については、4割の事業所が「変わらない」と回答しつつも、「悪影響に転じた」「好影響に転じた」と答えた事業所がともに21%(7社)あった。

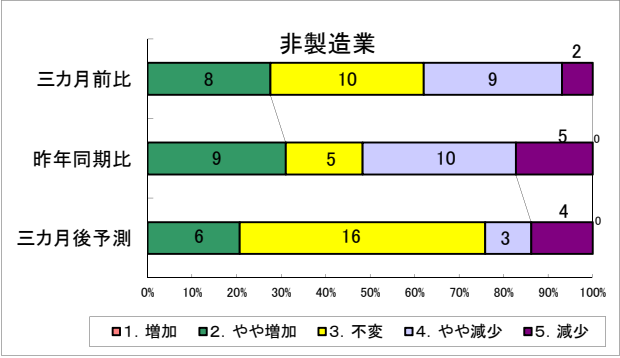
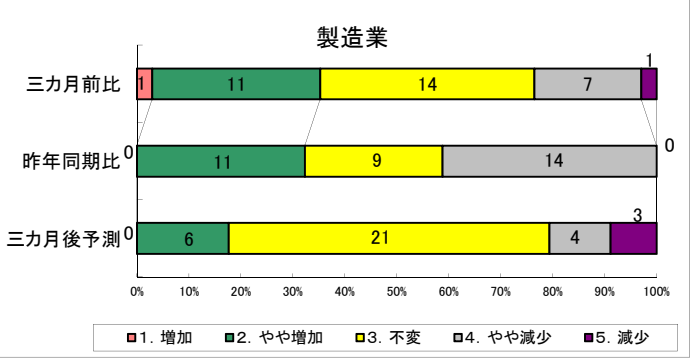
【非製造業】

売上(出荷)額において、DI値が三カ月前比では▲3.7から6.6悪化し▲10.3と再びマイナスの動きに転じ、製造業との間で差が見られる。対前年比では改善の動きが見られるも▲20.7と予断を許さない状況が続く。三カ月後予測では▲3.7から▲3.4と少しではあるが改善するも製造業同様先行きは厳しい。

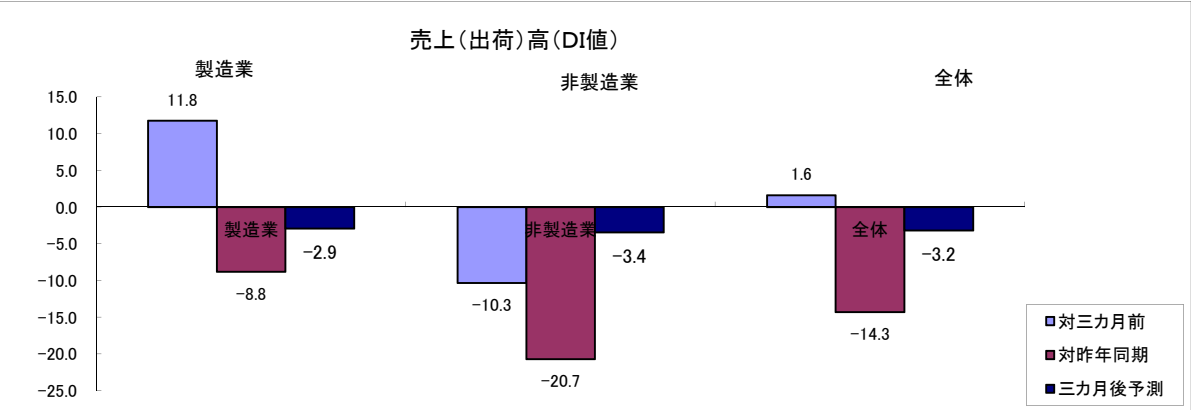
景況感において、三カ月前比では0から20.7悪化し▲20.7と売上高と同じく両業種で差が見られる結果となった。対前年比では▲29.6から4.9悪化し▲34.5と再び景気の後退感が感じられる。三カ月後予測では22.2から39.4悪化し▲17.2とかなりの下落幅で先行きはかなり厳しい見通し。

円安による影響については、38%(11社)が「依然悪影響が続いている」と答え、最多回答であった。一方で「好影響に転じた」と7%(2社)の事業所が回答。

1. 貴社の売上(出荷)額について



DI値	対三カ月前	対昨年同期	三カ月後予測	対三カ月前 (前回)	対昨年同期 (前回)	三カ月後予測 (前回)
製造業	11.8	-8.8	-2.9	-5.9	-47.1	14.7
非製造業	-10.3	-20.7	-3.4	-3.7	-25.9	-3.7
全体	1.6	-14.3	-3.2	-4.9	-37.7	6.6

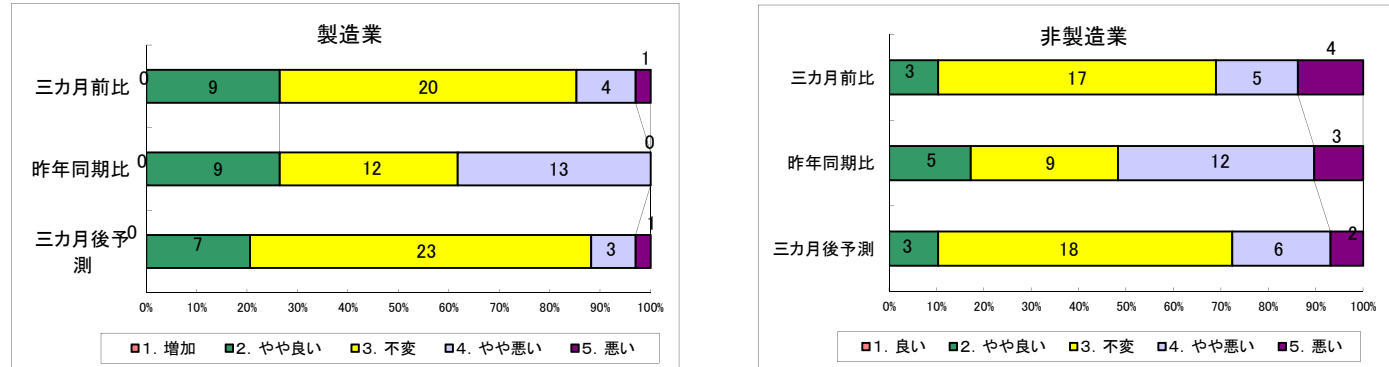


対三ヶ月前比において、製造業ではDI値が▲5.9から17.7回復し11.8と大きくプラスの値に転じており、売上増を感じている事業所が目立った。非製造業では▲3.7から6.6悪化し▲10.3と再びマイナスの動きに転じ、製造業との間で差が見られる。

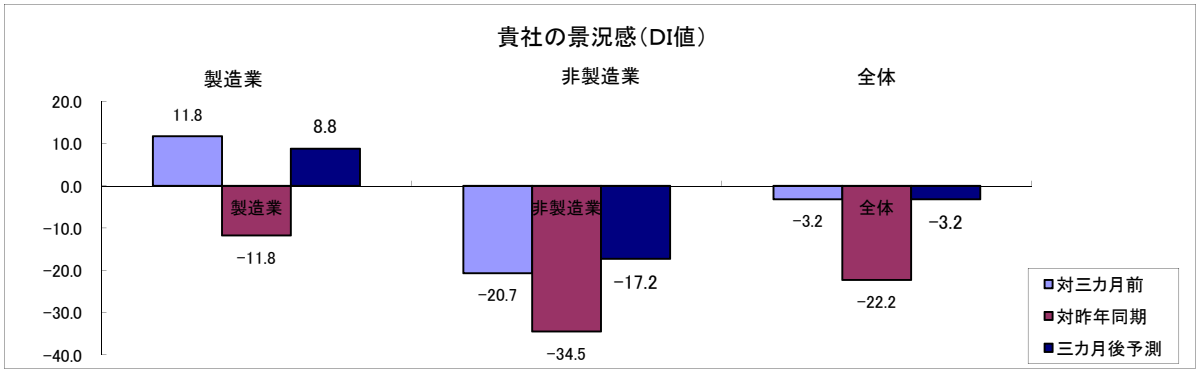
対前年比において、製造業では▲47.1から38.3回復し▲8.8と大幅な改善が見られた。4期連続して悪化傾向が続いていたが、昨年と比較しても今期調査では売上の増加、経営状態の改善を感じている事業所が多かった。非製造業でも改善の動きが見られるも▲20.7と予断を許さない状況が続く。

三カ月後予測において、製造業では14.7から17.6悪化し▲2.9となっており前期調査から一転し今後は厳しい見通し。非製造業においても▲3.7から▲3.4と少しではあるが改善するも製造業同様先行きは厳しい。

2. 貴社の景況感について



DI値	対三カ月前	対昨年同期	三カ月後予測	対三カ月前 (前回)	対昨年同期 (前回)	三カ月後予測 (前回)
製造業	11.8	-11.8	8.8	-14.7	-38.2	5.9
非製造業	-20.7	-34.5	-17.2	0.0	-29.6	22.2
全体	-3.2	-22.2	-3.2	-8.2	-34.4	13.1

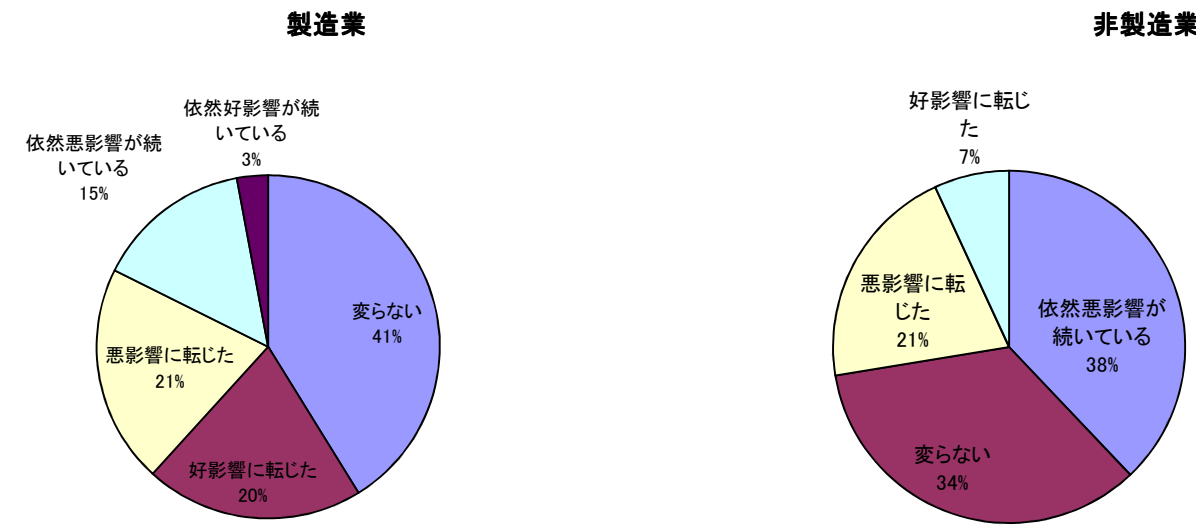


対三カ月前比において、D I 値が製造業では▲14. 7から26. 5回復し11. 8と大幅な改善。2期連続して回復傾向が続き今後の調査が期待される。非製造業では0から20. 7悪化し▲20. 7と売上高と同じく両業種で差が見られる結果となった。

対前年比において、製造業では▲38. 2から26. 4回復し▲11. 8と景況感においても昨年との比較で直近三カ月間の改善を感じている。非製造業では▲29. 6から4. 9悪化し▲34. 5と再び景気の後退感が感じられる。

三カ月後予測において、製造業では5. 9から2. 9回復し8. 8と2期連続してプラスの値を維持しており、景況感では今後も改善を期待している。非製造業では22. 2から39. 4悪化し▲17. 2とかなりの下落幅で先行きはかなり厳しい見通し。

3、昨年末より円安傾向が続いていますが、前期調査(5月)と比較し影響に変化はありますか？

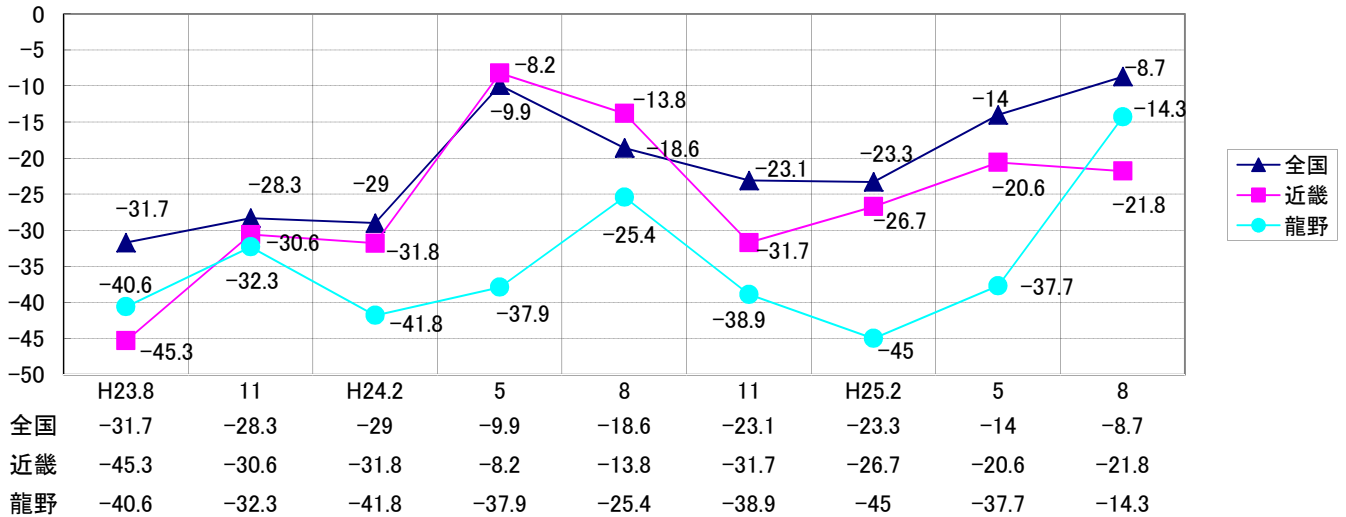


	依然好影響が続いている	好影響に転じた	悪影響に転じた	依然悪影響が続いている	変わらない
製造業	3%(1社)	21%(7社)	21%(7社)	15%(5社)	40%(14社)
非製造業	0%	7%(2社)	21%(6社)	38%(11社)	34%(10社)

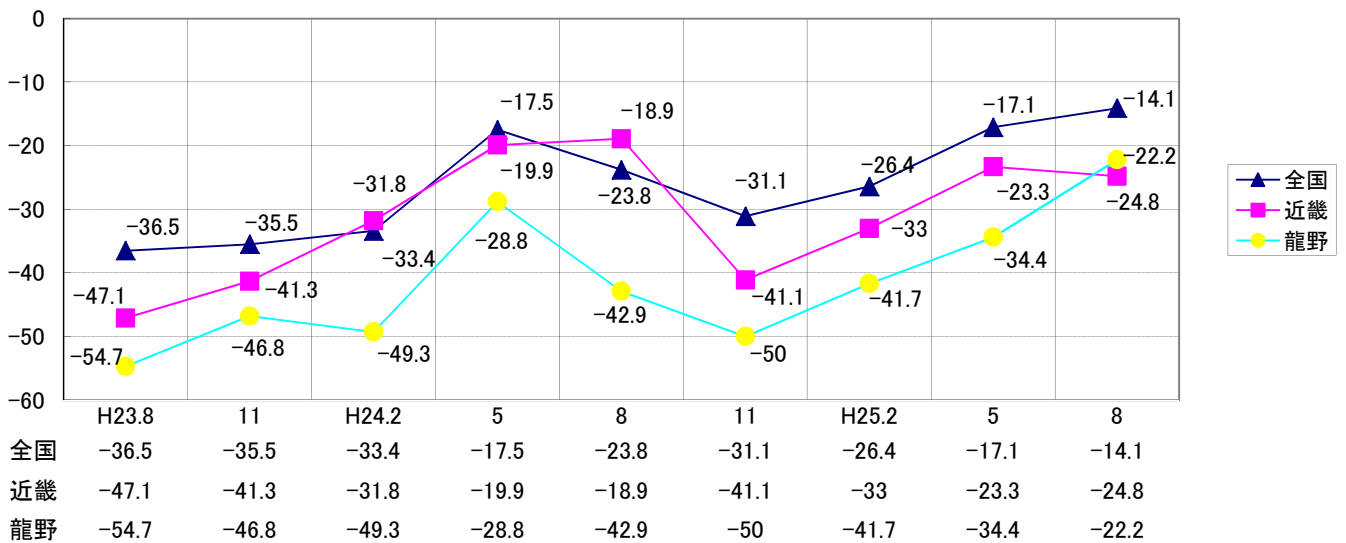
製造業では4割の事業所が「変わらない」と回答しつつも、非製造業では「依然悪影響が続いている」と38%(11社)が答え、最多回答であった。今期「好影響に転じた」と答えた事業所が製造業で21%(7社)、非製造業で7%(2社)あった。

全国・近畿ブロック調査との比較

売上(出荷)額 対前年比



貴社の景況感 対前年比



全国・近畿ブロック別調査………日本商工会議所実施のLOBO(早期景気観測)調査
 ※H25. 8の数値は7月度実施分を掲載

調査概要

1. 調査目的

四半期ごとに景気動向調査を実施し、管内景況を恒常的に把握する。
調査を実施し恒常的に管内景況を把握する。
2. 調査期間

平成25年7月29日～8月2日(基準日8月1日)
3. 調査方法

FAXにより依頼、回答
4. 調査対象

各役員議員、部会役員 130社

※DI値＝「好調＋やや好調」(持ち直す)の回答割合から「悪い＋やや悪い」(悪化する)の回答割合を差し引いたもの。数値が高いほど景況感が良く、低いほど悪い。
プラス100が最高値、0が平均、マイナス100が最低値を示す。

5. 回答企業の属性

所属部会	対象数	調査対象	対象数	回答数	回答率
一般工業	21	製造業	75	34	45.3%
建設業	17	非製造業	55	29	52.7%
醤油工業	7	合 計	130	63	48.5%
食品工業	13				
皮革工業	17				
公益業	14				
サービス業	9				
理財	8				
商業	24				
合計	130				